

# 宗祖親鸞聖人降誕会

降誕会とは、親鸞聖人のお誕生日（五月二十一日）のこと。三ヶ所の西教寺では、いろいろ趣向を凝らしてお祝いしました。

三津田支坊ご講師は、三ヶ本義幸先生。「み教えに生きる」と題してご法話。ご満座参詣者にはお齋のお接待がありました。



三津田支坊お齋（とき）

長ノ木本坊は瀧渕孝文先生。お話のテーマは「いのち



宮脇篁仙さん（右）と大崎聡子さん（左）

式（立礼）。希望者は茅葺きの草庵で一服。最後に、蔵本通支坊は、吉川恭順先生。「面々のおんはからひなりー自立をうながす朋の声ー」というテーマでお話。ご満座はビンゴゲーム。皆さんのおかげで豪華賞品が揃いました。

ということになっていきます。足は遅くても努力してウサギを追い抜いたから。ところがインドの人にその話をする、意外なことに、「どうしてカメはウサギを起こしていつしよに行かないのか」と言ったとか。

うさぎを起こさないカメ

ビンゴの前にご法話。印象的だったのはウサギとカメの話。日本ではカメはえらい

それは競争していったからだとか、色々反論はできると思いますが、私は「起こす」なんて思いもしなかつたのでハツとさせられました。それは、その話にかぎらず、一事が万事、私はどんな時も他人と競争、勝ち組になる教育を受け、実際その通りに生きていて、口と心は裏腹、心の底では恥ずかしながら、



長ノ木本坊草庵



西教寺賞を受賞した並木蓮助くん。今年の西教寺賞は電子モーター扇風機。お兄ちゃん中央助くんも豪華ハン焼き器をゲット



皆とともに歩いてゆこうなんて思っていないからです。み教えの光が、闇を生きている私の姿と本音を照らしてくれました。